

8
(月)

イエスの宣教の始め

マタイによる福音書四章12〜25節

イエスは、「私に付いて来なさい。人間をとる漁師にしよう」と言われた。二人はすぐに網を捨てて従った。(19、20)

宣教を始めるにあたり、イエスが最初になされたのは弟子を選ぶことでした。最初の弟子は、ガリラヤの漁師たちでした。このとき主イエスはすでにペトロたちに出会っておられ(ヨハネ一35〜42)、彼らがどういう人物であるかを知っておられたことでしょう。才能があるとか、将来有望であるとはとても思えないような者たちです。しかし、イエスはそのような彼らに声をかけられました。「私に付いて来なさい」と。神は能力や賜物を判定して人を選ぶものではありません。「人間をとる漁師にしよう」とあるように、神がその人を造り変えてくださるかからこそ、それが可能となるのです。神は私たちをも、キリストの弟子にふさわしい者へと造り変えてくださいます。この私たちに期待していただくさるのです。この神の語りかけがあるからこそ、自らを主の御手に委ねることができなのです。